



1/本番終了後に関係者全員笑顔で記念撮影 2/劇の終盤に一对一で決闘する両民族の若きリーダー 3/鉄砲に打たれ倒れる郷の長 4/出演者全員が存在感をはなちます 5/劇中に何度も舞われた神楽 6/終演後全員で来場者をお見送り。皆さんから「よかったよ」「感動した」などと声かけられました

おらほーる劇場 今年も大成功！

誰でも参加できる市民劇場「おらほーる」が今年も大成功を収めた。11月25、26日に開催された、今年の第11回公演に438人が来場しました。脚本、演出音楽など全てオリジナルなこの作品に、小学生から60代までの市民約40人は、8月から3ヶ月間にわたり稽古や舞台制作に励んできました。

今回の劇は、久慈市が製鉄を生業とした土地であったことから、鉄滓という地名を設定した「鉄滓戦記」。古くから対立する二つの民族、それぞれの民族を率いる2人の若きリーダーが対立を知らず友情を深め、それぞれの郷に戻った後、争いのない理想郷を作り上げていくこの物語。山形地区に伝わる狼森の伝説や、山根地区の端神の地名が地用されたほか、伝統芸能である戸呂町神楽や豊作祈願の風習である石神座を取り入れられるなど地域色に富んだ劇が作り上げられました。幕が下りると会場からは割れんばかりの大きな拍手が出演者に贈られました。



北三陸に新しい冬の名物鍋が誕生！

12月6日、市内催事場で「北三陸うに鍋」の発表会が行われ、関係者ら約40人が参加しました。鍋は久慈地域雇用創造協議会が地域内の事業所が活用できる新モデル物産商品として開発したものです。同協議会へ申請し、北三陸産のウニまたはかぜ水、コンブ、魚介類を使用した鍋料理に名称が使用できます。この日は開発に協力した魚棚、はまなす亭、えぼし荘、くろさき荘が試作品を披露。ウニを海鮮しゃぶしゃぶの付けだれにしたものやまめぶ風に包み込んだ鍋など、参加者はウニの新たな味わいを堪能しました。鍋は今後新たな名物として提供されます。

わがやのアイドル

ささもり こはる ちゃん (1カ月)
 笹森 心遙
 坂本秋男さんの孫 (西の沢)



未就学の子ども、もしくはペットの写真を募集しています。写真に必要事項(氏名、年齢、性別、住所、申込者との続柄)を添えて、久慈市役所「広報くじ担当」まで郵送、または直接お持ちください。写真は掲載後にお返しします。